

## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月6日

上場会社名 株式会社ひろぎんホールディングス  
 コード番号 7337 URL <https://www.hirogin-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 部谷 俊雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部経営企画グループ 主計課長 (氏名) 中室 篤  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月7日  
 特定取引勘定設置の有無 有  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 082-245-5151

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	118,183	10.9	20,760	△29.0	14,189	△28.7
2022年3月期第3四半期	106,554	25.6	29,254	25.7	19,899	23.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △21,313百万円( -%) 2022年3月期第3四半期 14,969百万円(△53.1%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
2023年3月期第3四半期	45.66		45.63	
2022年3月期第3四半期	64.07		64.04	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年3月期第3四半期	11,629,141		467,055		4.0	
2022年3月期	11,603,909		496,200		4.3	

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 466,814百万円 2022年3月期 495,935百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2023年3月期	—	13.50	—		
2023年3月期(予想)				13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	37,000	36.7	25,000	9.1	80.49	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	312,370,921株	2022年3月期	312,370,921株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,549,368株	2022年3月期	1,789,525株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	310,756,445株	2022年3月期3Q	310,548,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報	.....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	.....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	.....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	.....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	.....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	.....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	.....	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	.....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	.....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	.....	P. 7
(会計方針の変更)	.....	P. 7
(追加情報)	.....	P. 7
(企業結合等関係)	.....	P. 7
2023年3月期第3四半期 決算説明資料	.....	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

連結経営成績につきましては、経常収益は前年同期比116億29百万円増加して1,181億83百万円、経常費用は前年同期比201億24百万円増加して974億23百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比84億94百万円減少して207億60百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比57億10百万円減少して141億89百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比252億円増加の11兆6,291億円、負債は前連結会計年度末比543億円増加の11兆1,620億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比292億円減少の4,670億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金等（譲渡性預金含む）は前連結会計年度末比404億円増加の9兆1,082億円、貸出金は前連結会計年度末比3,069億円増加の7兆2,087億円、有価証券は前連結会計年度末比105億円増加の1兆6,787億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年11月11日公表の数値から変更はありません。

配当予想につきましても、2022年11月11日公表の1株当たり年間配当金27円から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,577,627	2,226,310
コールローン及び買入手形	5,899	33,119
買入金銭債権	8,000	8,985
特定取引資産	7,577	13,091
金銭の信託	42,415	39,227
有価証券	1,668,228	1,678,700
貸出金	6,901,858	7,208,790
外国為替	11,468	12,417
リース債権及びリース投資資産	63,275	66,009
その他資産	137,159	146,135
有形固定資産	107,359	106,564
無形固定資産	9,025	9,424
退職給付に係る資産	58,164	61,411
繰延税金資産	6,060	19,237
支払承諾見返	38,859	38,831
貸倒引当金	△39,070	△39,116
資産の部合計	11,603,909	11,629,141
<b>負債の部</b>		
預金	8,729,837	8,724,939
譲渡性預金	338,041	383,277
コールマネー及び売渡手形	—	315,000
売現先勘定	229,457	207,880
債券貸借取引受入担保金	448,183	447,726
特定取引負債	4,848	10,521
借入金	1,201,839	932,601
外国為替	2,714	704
信託勘定借	51	50
その他負債	97,409	84,833
退職給付に係る負債	697	712
役員退職慰労引当金	130	135
睡眠預金払戻損失引当金	1,110	584
ポイント引当金	150	195
株式給付引当金	799	844
固定資産解体費用引当金	307	—
特別法上の引当金	28	28
再評価に係る繰延税金負債	13,241	13,215
支払承諾	38,859	38,831
負債の部合計	11,107,708	11,162,086

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
資本金	60,000	60,000
資本剰余金	25,209	25,209
利益剰余金	377,217	383,462
自己株式	△1,237	△1,071
株主資本合計	461,189	467,599
その他有価証券評価差額金	1,367	△38,365
繰延ヘッジ損益	908	5,719
土地再評価差額金	26,993	26,973
退職給付に係る調整累計額	5,476	4,886
その他の包括利益累計額合計	34,745	△785
新株予約権	126	126
非支配株主持分	138	114
純資産の部合計	496,200	467,055
負債及び純資産の部合計	11,603,909	11,629,141

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
経常収益	106,554	118,183
資金運用収益	53,909	64,107
(うち貸出金利息)	42,776	49,110
(うち有価証券利息配当金)	8,705	12,452
信託報酬	130	104
役務取引等収益	24,732	24,019
特定取引収益	3,648	2,770
その他業務収益	19,021	22,172
その他経常収益	5,112	5,008
経常費用	77,299	97,423
資金調達費用	2,628	13,427
(うち預金利息)	632	1,157
役務取引等費用	9,123	9,189
その他業務費用	16,660	24,205
営業経費	43,945	43,882
その他経常費用	4,941	6,718
経常利益	29,254	20,760
特別利益	2	24
固定資産解体費用引当金戻入益	—	12
固定資産処分益	1	11
金融商品取引責任準備金取崩額	0	0
特別損失	700	314
固定資産処分損	160	201
減損損失	540	113
税金等調整前四半期純利益	28,556	20,469
法人税、住民税及び事業税	6,467	3,557
法人税等調整額	2,163	2,713
法人税等合計	8,631	6,271
四半期純利益	19,925	14,198
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,899	14,189

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益	19,925	14,198
その他の包括利益	△4,955	△35,511
その他有価証券評価差額金	△2,991	△39,732
繰延ヘッジ損益	△902	4,811
退職給付に係る調整額	△1,061	△589
四半期包括利益	14,969	△21,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,944	△21,322
非支配株主に係る四半期包括利益	25	8



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券として取得原価をもって四半期連結貸借対照表価額としていた一部の投資信託について、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とすることに変更しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定)

前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 注記事項(重要な会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(企業結合等関係)

(子会社間の合併)

当社の子会社であるひろぎんヒューマンリソース株式会社は、当社の子会社であった株式会社マイティネットプラスを2022年4月1日付で吸収合併いたしました。

## 1. 取引の概要

## (1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合企業の名称	ひろぎんヒューマンリソース株式会社
事業の内容	コンサルティング業務
被結合企業の名称	株式会社マイティネットプラス
事業の内容	人材派遣業務

## (2) 企業結合日

2022年4月1日

## (3) 企業結合の法的形式

ひろぎんヒューマンリソース株式会社を存続会社、株式会社マイティネットプラスを消滅会社とする吸収合併

## (4) 結合後企業の名称

ひろぎんヒューマンリソース株式会社

## (5) その他取引の概要に関する事項

業務の効率化によるグループ経営の一層の強化及びサービスの一層の充実を目的として吸収合併したものです。

## 2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

# 2023年3月期第3四半期 決算説明資料

## 1. 損益の状況

### 【ひろぎんホールディングス 連結】

- **連結粗利益**は、国債等債券関係損益の減少を主因として、**前年同期比66億77百万円減益の663億52百万円**となりました。
- このほか、与信費用は減少したものの、株式等関係損益の減少により、**経常利益は前年同期比84億94百万円減益の207億60百万円**となりました。
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、**前年同期比57億10百万円減益の141億89百万円**となりました。

(単位:百万円)

		2023年3月期 第3四半期 (9か月)	前年同期比	2022年3月期 第3四半期 (9か月)	【参考】 2022年3月期 (12か月)	
<b>連結粗利益</b>	1	<b>66,352</b>	<b>△ 6,677</b>	<b>73,029</b>	<b>92,018</b>	
資金利益	2	50,680	△ 601	51,281	69,535	
役務取引等利益	3	14,934	△ 804	15,738	21,115	
特定取引利益	4	2,770	△ 878	3,648	4,305	
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	5 6	△ 2,032 (△ 6,683)	△ 4,392 (△ 6,242)	2,360 (△ 441)	△ 2,939 (△ 7,230)	
営業経費 (△)	7	43,882	△ 63	43,945	58,031	
与信費用 (△)	8	△ 655	△ 4,860	4,205	12,447	
貸出金償却 (△)	9	-	△ 797	797	957	
個別貸倒引当金繰入額 (△)	10	2,085	△ 1,126	3,211	5,249	
一般貸倒引当金繰入額 (△)	11	△ 980	△ 1,125	145	6,002	
貸出債権売却損等 (△)	12	129	78	51	240	
償却債権取立益等	13	1,890	1,890	0	1	
株式等関係損益	14	△ 2,660	△ 6,649	3,989	5,073	
その他	15	295	△ 92	387	457	
<b>経常利益</b>	<b>1-7-8+14+15</b>	<b>20,760</b>	<b>△ 8,494</b>	<b>29,254</b>	<b>27,070</b>	
特別損益	17	△ 290	407	△ 697	5,856	
税金等調整前四半期(当期)純利益	18	20,469	△ 8,087	28,556	32,926	
法人税等合計 (△)	19	6,271	△ 2,360	8,631	9,984	
四半期(当期)純利益	20	14,198	△ 5,727	19,925	22,942	
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益(△)	21	8	△ 17	25	36	
<b>親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益</b>	<b>22</b>	<b>14,189</b>	<b>△ 5,710</b>	<b>19,899</b>	<b>22,906</b>	
(参考)営業経費率	7÷(1-6)	23	60.1%	0.3%	59.8%	58.5%

(注)「連結粗利益」は、(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用+信託報酬)+(特定取引収益-特定取引費用)+(その他業務収益-その他業務費用)で算出しております。

(参考:連結対象会社数)

(単位:社)

	2022年12月末	2021年12月末比	2021年12月末	2022年3月末
連結子会社数	12	-	12	13

【広島銀行 単体】

- **コア業務純益**は、法人ソリューション収益が大幅に増加するなど**本業の業績が堅調に推移**したことや、経費の減少により、**前年同期比20億84百万円増益の267億52百万円**となりました。
- 一方、低利回りの外債について処分を進めたことに伴う売却損の計上に加え、保有株式の株価下落等により減損損失を計上したことから、**経常利益は前年同期比68億円減益の193億90百万円、四半期純利益は前年同期比45億47百万円減益の138億11百万円**となりました。

(単位:百万円)

		2023年3月期 第3四半期 (9か月)	前年同期比	2022年3月期 第3四半期 (9か月)	【参考】 2022年3月期 (12か月)
<b>業務粗利益</b>	1	<b>59,500</b>	<b>△ 5,003</b>	<b>64,503</b>	<b>80,696</b>
(うちコア業務粗利益 1-7)	2	<b>(66,183)</b>	<b>(1,239)</b>	<b>(64,944)</b>	<b>(87,926)</b>
資金利益	3	51,865	△ 629	52,494	70,743
役務取引等利益	4	10,214	△ 502	10,716	14,553
特定取引利益	5	1,204	577	627	641
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	6 7	△ 3,783 (△ 6,683)	△ 4,447 (△ 6,242)	664 (△ 441)	△ 5,241 (△ 7,230)
経費(除く臨時処理分) (△)	8	39,430	△ 846	40,276	53,211
人件費 (△)	9	19,258	575	18,683	24,486
物件費 (△)	10	17,202	△ 1,586	18,788	25,149
税金 (△)	11	2,969	166	2,803	3,575
<b>実質業務純益 1-8</b>	12	<b>20,069</b>	<b>△ 4,157</b>	<b>24,226</b>	<b>27,484</b>
(コア業務純益 2-8)	13	<b>(26,752)</b>	<b>(2,084)</b>	<b>(24,668)</b>	<b>(34,715)</b>
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	14	<b>(26,752)</b>	<b>(2,084)</b>	<b>(24,668)</b>	<b>(34,715)</b>
一般貸倒引当金繰入額 (△)	15	△ 958	△ 1,087	129	6,059
<b>業務純益 12-15</b>	16	<b>21,028</b>	<b>△ 3,069</b>	<b>24,097</b>	<b>21,424</b>
臨時損益 18-19+24	17	△ 1,637	△ 3,729	2,092	1,457
株式等関係損益	18	△ 2,660	△ 6,629	3,969	5,054
不良債権処理額 (△)	19	173	△ 3,605	3,778	5,936
貸出金償却 (△)	20	-	△ 797	797	952
個別貸倒引当金繰入額 (△)	21	1,935	△ 995	2,930	4,873
貸出債権売却損等 (△)	22	126	76	50	110
償却債権取立益等	23	1,888	1,888	0	0
その他臨時損益	24	1,195	△ 706	1,901	2,339
<b>経常利益 16+17</b>	25	<b>19,390</b>	<b>△ 6,800</b>	<b>26,190</b>	<b>22,882</b>
特別損益	26	△ 288	379	△ 667	5,928
うち退職給付信託返還益	27	-	-	-	7,035
うち固定資産関係損益	28	△ 300	367	△ 667	△ 1,107
固定資産処分益	29	11	10	1	1,321
固定資産処分損 (△)	30	199	71	128	183
減損損失 (△)	31	113	△ 427	540	2,245
税引前四半期(当期)純利益	32	19,102	△ 6,420	25,522	28,811
法人税等合計 (△)	33	5,291	△ 1,872	7,163	8,150
<b>四半期(当期)純利益</b>	34	<b>13,811</b>	<b>△ 4,547</b>	<b>18,358</b>	<b>20,660</b>
与信費用 15+19 (△)	35	△ 785	△ 4,693	3,908	11,996

## 2. 自己資本比率(国内基準)

### 【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:億円)

	2022年12月末		2022年9月末
		2022年9月末比	
(1) 自己資本の額	4,258	13	4,245
(2) リスク・アセット等の額の合計額	40,454	386	40,068
(3) 連結自己資本比率 (1)÷(2)	10.52%	△ 0.07%	10.59%

(注)信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。

### 【広島銀行 単体】

(単位:億円)

	2022年12月末		2022年9月末
		2022年9月末比	
(1) 自己資本の額	4,000	10	3,990
(2) リスク・アセット等の額の合計額	40,191	329	39,862
(3) 自己資本比率 (1)÷(2)	9.95%	△ 0.06%	10.01%

(注)信用リスク・アセットの算出においては基礎的内部格付手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては粗利益配分手法を採用しております。

## 3. 利鞘【広島銀行 単体】

(国内業務部門)

(単位:%)

	2023年3月期 第3四半期 (9か月)		2022年3月期 第3四半期 (9か月)
		前年同期比	
(1) 資金運用利回(A)	0.72	△ 0.06	0.78
貸出金利回	0.75	△ 0.05	0.80
有価証券利回	0.71	△ 0.17	0.88
(2) 資金調達原価(B)	0.50	△ 0.02	0.52
預金等利回	0.00	0.00	0.00
(3) 預貸金利鞘	0.18	△ 0.02	0.20
(4) 総資金利鞘(A)-(B)	0.22	△ 0.04	0.26

(注)預金等利回は、譲渡性預金を含んでおります。

#### 4. 有価証券関係損益【広島銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年3月期 第3四半期 (9か月)	前年同期比	2022年3月期
			第3四半期 (9か月)
国債等債券関係損益	△ 6,683	△ 6,242	△ 441
売却益	2,841	761	2,080
売却損 (△)	9,524	7,002	2,522
償却 (△)	-	-	-
株式等関係損益	△ 2,660	△ 6,629	3,969
売却益	2,815	△ 1,856	4,671
売却損 (△)	131	△ 39	170
償却 (△)	5,344	4,814	530

#### 5. 有価証券評価損益

##### 【ひろぎんホールディングス 連結】

(単位:億円)

	2022年12月末				2022年9月末		
	評価損益	2022年9月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	△ 552	△ 48	374	927	△ 504	368	873
株式	344	13	353	8	331	340	9
債券	△ 380	△ 176	3	384	△ 204	7	212
その他	△ 516	115	17	534	△ 631	19	651
うち外債	△ 403	125	0	403	△ 528	0	529
合計	△ 552	△ 48	374	927	△ 504	368	873

##### 【広島銀行 単体】

(単位:億円)

	2022年12月末				2022年9月末		
	評価損益	2022年9月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	△ 552	△ 48	374	927	△ 504	368	872
株式	344	13	353	8	331	340	9
債券	△ 380	△ 176	3	384	△ 204	7	212
その他	△ 516	115	17	534	△ 631	19	651
うち外債	△ 403	125	0	403	△ 528	0	529
合計	△ 552	△ 48	374	927	△ 504	368	872

## 6. 貸出金の残高【広島銀行 単体】

### (1)貸出金残高の内訳

(単位:億円)

	2022年12月末	2022年3月末比		2022年3月末	2021年12月末
		2022年3月末比	2021年12月末比		
貸出金残高	72,676	3,021	3,886	69,655	68,790
事業性貸出等	55,453	2,757	3,508	52,696	51,945
個人ローン	17,222	263	377	16,959	16,845
住宅ローン	11,249	200	285	11,049	10,964
その他ローン	5,972	62	92	5,910	5,880

### (2)中小企業等貸出

(単位:億円)

	2022年12月末	2022年3月末比		2022年3月末	2021年12月末
		2022年3月末比	2021年12月末比		
中小企業等貸出残高	45,940	1,356	1,505	44,584	44,435
中小企業等貸出比率	63.2%	△ 0.8%	△ 1.4%	64.0%	64.6%

(注)1. 中小企業等貸出残高は、個人ローン残高等を含んでおります。

2. 中小企業等貸出比率の分母となる貸出金は、特別国際金融取引勘定分を除いております。

## 7. 金融再生法ベースの категорияによる開示債権・リスク管理債権【広島銀行 単体】

(単位:億円)

	2022年12月末	2022年9月末比		2022年9月末
		2022年9月末比	2021年9月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	74	18		56
危険債権	402	1		401
要管理債権	402	11		391
三月以上延滞債権	21	△ 2		23
貸出条件緩和債権	381	12		369
小計	878	30		848
正常債権	72,698	1,213		71,485
合計	73,576	1,243		72,333
不良債権比率	1.19%	0.02%		1.17%

(注)1. 上記の2022年12月末計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の categoryにより分類しております。

また、同計数は、広島銀行の定める自己査定基準に基づく2022年12月末時点の資産査定の結果による債務者区分を基に集計しております。

2. 「要管理債権」中の「三月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」は、リスク管理債権における区分を表示しております。

## 8. 預金等の残高【広島銀行 単体】

(単位:億円)

				2022年3月末	2021年12月末
	2022年12月末	2022年3月末比	2021年12月末比		
預金等残高	91,288	338	1,614	90,950	89,674
個人預金	59,605	2,250	2,165	57,355	57,440
法人預金	27,053	△ 643	101	27,696	26,952
公金・金融預金	4,629	△ 1,268	△ 651	5,897	5,280

(注)預金等は、譲渡性預金を含んでおります。

## 9. 総預り資産残高【広島銀行+ひろぎん証券】

(単位:億円)

				2022年3月末	2021年12月末
	2022年12月末	2022年3月末比	2021年12月末比		
総預り資産残高	106,467	155	1,370	106,312	105,097
広島銀行	102,194	365	1,671	101,829	100,523
預金等	91,288	338	1,614	90,950	89,674
非預金商品	10,905	27	56	10,878	10,849
投資信託	1,657	92	70	1,565	1,587
公共債	1,231	△ 195	△ 256	1,426	1,487
年金保険	3,658	△ 167	△ 200	3,825	3,858
金融商品仲介	3,949	286	422	3,663	3,527
その他	408	12	19	396	389
ひろぎん証券 (除く金融商品仲介)	4,273	△ 210	△ 301	4,483	4,574
非預金商品合計	15,178	△ 184	△ 245	15,362	15,423

(注)1.ひろぎん証券の残高は、時価ベースです。

2.「ひろぎんアプリ」を通じた金融商品仲介(楽天証券・SBI証券)は含んでおりません。